

追跡

— あの質問のゆくえ —

鮎貝まちづくり事業一般向け分譲の見通しは

鮎貝土地区画整理事業地内の、一般向け分譲の見通しを伺います。

平成19年6月議会

町長答弁

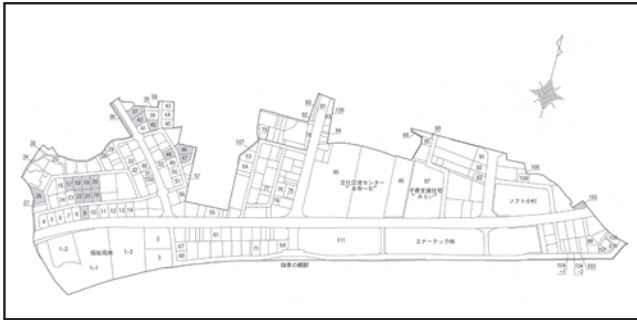
厳しい状態だが販売促進に努める

保留地の販売は、平成16年10月から開始し、69区画(当時)中8区画と厳しい状態です。今後は、土地区画整理組合と連携し販売促進に努めます。

どうなった

町が残保留地17区画の寄付を受けました

保留地の販売は、新たな街並みの形成や文化交流センターをはじめとする公共施設や統合保育園の設置による賑わいが見え始めたこと、町からの定住促進補助金による新たな魅力、区画整理組合の組合員率先購入、企業購入などによって、96区画中79区画を販売し、残保留地17区画となりました。



鮎貝土地区画整理事業 残保留地



町の花「こぶし」

昭和47年に制定された町の花「こぶし」が国道287号線の両脇に植栽されています。年々枯れている枝が多くなってきたので、花の盛りに通った時にはとても残念に思っております。

車の排気ガスや根が張る面積が少ないのが原因なのでしょう。山の「こぶし」は、のびのびと育ち毎年良く花を咲かせているのが、遠くからでも見ることが出来ます。排気ガスや舗装のない場所に植栽したら大木になり、花を満開に咲かせてくれるのではないかと思っています。

そうすることで町外の方々にも「町の花「こぶし」として、誇れるのではないか」と思っております。

(鷹山地区 60代 女性)

町民の報



編集後記



この春「さくら保育園」と子育て支援センター「にこぼ」と子ども達の明るい元気な声と笑顔に心も弾みます。子ども達の健全やかな成長を皆で見守っていきましょう。

平成25年度当初予算が3月定例議会で可決されました。議会の果たす役割は益々重要であり、議員一人ひとりが町民の声を聞き町政に反映していくことが大切と考えます。

今回、現広報委員の最後の編集作業になります。編集委員は定例議会が終わってからが時間との闘いで、案書と議事録との読み合わせもわかりやすく取り組んでまいります。

《新野》

発行責任者・議長
青木 彰榮

広報委員

委員長 関 千鶴子

副委員長・編集長 山田 仁

委員 樋口与一朗

委員 田中 孝

委員 新野いく子

印刷・術梅津印刷

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。